


# 麻生町(あそうまち)

	<住所>311-3892 行方郡麻生町大字麻生 1561-9 <Tel> 0299-72-0811 <Fax> 0299-72-2174 <HP>http://www.town.aso.ibaraki.jp <e-mail>soumu@town.aso.ibaraki.jp	地域指定 工特、市町村圏、 指数表選定	一部事務組合加入事業 議員・非常勤公務災害 老人福祉、ごみ処理、火 葬場、介護保険、茨城 租税債権管理機構	公営企業 上水道、白帆荘
	類型 4-2    コード番号 084212    面積 60.38k㎡			

## <行政組織>

### ①三役(H16.5.1 現在)

長	よこやま ちゆういち 横山 忠市 (60歳)	任期	H15.3.11~ H19.3.10
助役	欠員	収入役	篠塚 一郎

### ②議会(H16.5.1 現在)

議長	酒井 勝男	副議長	平野 晋一
任期	H20.3.2	定数	18名
現議員数	18名	党派別	無 18

### ③職員数(H15.4.1 現在) (人)

全職員数	普通会計関係		公益事業 会計関係
	うち一般行政関係		
188	156	101	32
一般行政職の 平均給料月額	331,372円	ラスパイレ 指数	94.6
全職員数 の推移	H12.4.1	H13.4.1	H14.4.1
	192	190	186

### ④機構図(H16.4.1 現在)

<町長>—<助役>—

総務課—人事管理係、庶務係、防災交通係、管財係  
秘書広聴室—秘書広報広聴係

企画財政課—企画調整係、財政係、開発振興係、広域行政係

税務課—徴収係、固定資産税係、町民税係

町民課—戸籍係、住民係、年金係、国民健康保険係、  
国民健康保険税係

福祉課—社会福祉係、高齢福祉・医療係、介護保険係

健康増進課—保健衛生係

環境対策課—環境係、衛生管理係

経済課—農政係、土地改良係、商工観光係

建設課—道路河川改良係、道路河川維持係、建築係、  
用地係

下水道課—工務係、管理係

<収入役>—会計課—出納係

<水道事業管理者>—水道課—施設係、業務係

<教育長>—教育次長—  
学校教育課—総務係  
学校教育係  
生涯学習課—社会教育係  
公民館  
社会体育係  
町民運動広場

<議会>—議会事務局

<農業委員会>—事務局—庶務係、農地係、農政係

<白帆荘管理者>—白帆荘—管理係、白帆の湯係

<行政委員会>  
固定資産評価審査委員会事務局、監査委員事務局、  
選挙管理委員会事務局

## <概要>

### ①沿革

昭和30年3月31日 合体 麻生町 太田村 大和村 行方村 小高村
--------------------------------------

### ②地勢・風土等

麻生町は茨城県の東南部に位置し、東に北浦、西に霞ヶ浦を望む水辺の町である。古くは「常陸風土記」にも登場し、町内には今なお中世から近世にかけての史跡や文化財、伝統を残す歴史と文化の薫り高い町でもある。

この大いなる自然と歴史を資産とし、東関東自動車道水戸線の延伸を始め本町インターチェンジの誘致など、21世紀という新たな時代にふさわしい発展が期待されている。

### ③人口・世帯数

		国勢調査			常住人口 (H16.4.1)
		H2	H7	H12	
人口 (人)	男	8,794	8,550	8,186	8,018
	女	8,980	8,736	8,401	8,213
	合計	17,774	17,286	16,587	16,231
世帯数		4,139	4,144	4,345	4,545

### ④有権者数(H15.12.2 現在) ⑤高齢人口割合(H12 国勢調査)

有権者数 (人)	男	女	計	高齢人口割合
	6,690	6,890	13,499	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成12年度)

市町村内総生産	431億円	就業者1人当たり	5,752千円
住民所得	384億円	人口1人当たり	2,312千円

### ②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(H12年度)		就業人口(H12国調)	
第1次	4,100	9.3%	1,730	19.7%
第2次	12,221	27.9%	3,002	34.2%
第3次	27,552	62.8%	4,048	46.1%
総額・総数	43,873	—	8,786	—

### ③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (H12.2.1)	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H14.1.1~H14.12.31)
	1,708	2,289	7,370
製造業 (H14.12.31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H14.1.1~H14.12.31)
	57	1,427	21,938
卸・小売業 (H14.6.1)	商店数	従業者数	年間販売額 (H13.4.1~H14.3.31)
	174	915	16,875

### ④特産物

サツマイモ、レンコン、トマト、イチゴ、佃煮
-----------------------

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

年度	H13 決算	H14 決算	増減率
歳入	5,657,198	6,315,973	11.6
歳出	5,399,637	6,037,372	-10.6
形式収支	257,561	278,601	—
実質収支	246,158	296,361	—
単年度収支	8,572	23,203	—
実質単年度収支	58,899	-76,709	—

②主な歳入・歳出(平成14年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	6,316	—	-446	-7.3
地方税	1,279	20.2	-11	-0.8
地方交付税	2,481	39.3	-95	-3.5
国庫支出金	177	2.8	-28	-12.1
地方債	995	15.8	-275	-49.0
うち臨財債費	203	3.2	—	—
その他	1,384	21.9	—	—
歳出	6,037	—	-463	-7.9
義務的経費	2,314	38.3	0	0
人件費	1,322	21.9	60	4.4
扶助費	325	5.4	25	8.2
公債費	666	11.0	-41	-6.0
投資的経費	1,367	22.6	—	—
普通建設事業費	1,358	22.5	-599	-45.9
うち補助	42	0.7	-175	-61.1
うち単独	1,316	21.8	-422	-41.6
その他の経費	2,357	39.0	—	—

③主要指標(平成14年度)

区分	指数等
基準財政収入額(H15)	1,271 百万円
基準財政需要額(H15)	3,494 百万円
標準税収入額等(H15)	1,657 百万円
標準財政規模(H15)	3,873 百万円
財政力指数(H13~15)	0.362
経常収支比率	88.8 %
公債費負担比率	13.2 %
起債制限比率(3ヶ年平均)	9 %
税の徴収率(過年)	10.2 %
税の徴収率(現年)	97.6
税の徴収率(合計)	87.6

④将来にわたる財政負担(平成14年度)

(単位:千円、%)

	現在高	比率
地方債現在高(A)	5,579,669	136.0
債務負担行為による 翌年度支出予定額(B)	53	—
実質債務残高(C=A+B)	5,579,722	136.0
積立金現在高(D)	665,209	16.2
将来にわたる財政負担(E=C-D)	4,914,513	119.8

⑤市町村税の状況(平成14年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税 (構成比)	469,942 (32.2)	434,862 (34.0)	92.5
固定資産税 (構成比)	775,904 (53.1)	706,088 (55.2)	91.0
その他の税 (構成比)	214,520 (14.7)	137,635 (10.8)	64.2
合計	1,460,366	1,278,585	87.6

＜公共施設整備状況＞(平成14年度)

小学校	7校	老人福祉施設	1ヶ所
中学校	2校	病院・診療所	11ヶ所
幼稚園	2園	道路改良率	18.7%
保育所	2ヶ所	道路舗装率	43.2%
図書館	0ヶ所	ごみ焼却処理率	62.8%
公営住宅	121戸	し尿衛生処理率	99.6%
1人当たり公園面積	3㎡	上水道等普及率	90.8%
公民館等	6ヶ所	排水等処理率	33.5%
体育館	1ヶ所	施設充足率(公私 立幼稚園保育所)	89.8%
プール	0ヶ所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
町道1-7号線改良事業	H13 ~ H17	L=2100m W=6.0(11.0)m	200
都市計画道路粗毛・石神線改良事業	H8 ~ H21	L=3120m W=6.0(16.0)m	1,455
公共下水道事業	H16	全体計画 366ha 目標年次 平成27年度	326
あそう温泉「白帆の湯」開業	H16	健康増進施設	73
学童保育事業		小学校の空き教室を利用したの保育事業	

②今後の主要課題・特色ある行政等

「第3次麻生町総合振興計画後期計画」に基づき、事業の優先順位かつまた、規模の明確化を図り、経常経費の削減、節約・合理化を行い投資的経費への予算配分に努める。  
また、13年夏に復活した「帆曳き船」の運行や、霞ヶ浦自転車道の促進、あそう温泉「白帆の湯」の開業など、水辺の里麻生町ならではの「水辺の賑わい」をとりもどす事業を積極的に取り組んでいく。